

コロナ対策を斬る

コロナで失われたもの 元の日本に戻るために3年間を振り返る

(株)あかりみらい代表取締役 越智文雄氏

岸田内閣が新型コロナウイルスを2類から5類へ変更することをやると方針決定した。世界中がマスクを外しウイルスに戻っていった中でやると日本も当たり前前の形になる。現在の統計ではオミクロン株の感染による死者数は新型インフルエンザの死亡者数よりはるかに小さい。皆が感じているとおりこの新型コロナウイルスの3年間にわたる騒動がどれほど日本の経済と生活と文化社会を変質させてしまったか。さすがにこれで元の日本に戻れると見極めて振り返ってみたい。



(おち・ふみお)1957年 北大電業O
12月札幌生まれ。北海道事C
法学部卒業後、北海道電
力入社。97年電気に
連合会企画部時代に
P3に立ち合い、2008
北海道洞爺湖サミット環
境総合展事務局長。環
問題・エネルギー問題、日本
に
除菌管理の専門家。札幌
危険管理組合長、札幌
かができる経済人
ワーク主幹。65歳

新型コロナウイルスで最初の感染者が出てから3年。この悲しく愚かな悲喜劇をなせもつと早く收拾できなかったのか。これほどの死者、感染者を出し、地域経済を疲弊させ、自己破産と失業者を多く出した。これからゼロゼロ融資の返済が始まりさらに倒産企業が増えるだろうと言われていた。コロナのせいで、または政治、行政の過剰反応、間違った判断のせいでどれだけの人生が狂わされてしまったか。親の見舞いにも行けず、死に目にも会えず、葬儀もできなかった人たち、子供たちに看取りもされず孤独に亡くならざるを得なかった悲しい人たち。いったい誰がこんなことを続けさせたのか。

最初はパンデミックにパニックを起こし、病気の特徴も影響もわからないまま思いつくままの素

人対策を取ったのだから間違いもありやりすぎもあった。ただこの政治と経済と国民生活を激変させた専門家体制のバカバカしさは何だったのだろうか。3年間が経っていまだに何が原因でどうすればいいか何も変えていない。テレビ出演でひと財産を築いた専門家と言われている方々にお聞きしたい。この病気はどうしたら感染するのか。握手をしたら感染する。本当か。1時間に何十回も顔を触るのだから鼻や口から感染する。本当か。建物を出入りするのに薬用アルコールで指の股から手首まで消毒しなければ感染する。誰が実験した。エレベーターのボタンを指先で押すことで感染する。だからエレベーターの降り降りにもアルコールで消毒する。嘘だろう。ドアノブや学童椅子もアルコールで拭き取らなければ感染してしまう。

何の根拠とどんな研究があつてこんなことを日本中の学校に広めたのか。
本当にこれを専門家が自分で研究してエビデンスがある査読済論文として発表していたのか。ただの噂と風評を振りまいただけではないのか。今回の岸田総理の「マスクは屋外も屋内も個人の自由」という方針に早速、専門家と言われていた人がテレビで「マスクを外して免疫力を付けよう」と言っていた。いままでこの人は自分で研究・実験していたのか、いままで言っていたことはいったい何が根拠だったのか。
対面で食事をするとき飛沫を吸い込んで感染する。酒を飲んで会話をすると感染するから酒は禁止すべきだ。

いったい誰が何を根拠に決めたのか

1日2時間以上営業すると感染が広がるから閉店すべきだ。飲食店が潰れようが従業員が失業しようが関係ねえ。天井からビニールを垂らしてテーブルの間を1メートル離せば感染しない。誰が決めた。1口食べるごとにマスクを外し食事中は会話をしない。要は口を開けるなど言うことだ。今でも学校で子供たちが強制されている。日本中の子供たちが神経症予備軍としてまだ洗脳され続けている。全国の教員やPTAがきちんと議論されていない根拠のない同調圧力で子供たちの健全な成長を妨げている。

原因と対策と結果が一緒くたに日本を愚か者の国にした。専門家が機能しなかった。研究機関が機能しなかった。政治家が機能しなかった。メディアは犯罪的な報道を続けた。国民は自分の判断で自分と子供たちを守るうとしなかった。メディアに煽られて精神を失調し同調圧力そのものになってしまった。正しい情報を正しく分析し自分の身を自分で守るといふ当たり前の健全な生き残りができなかった。日本全体が何も考えてない神経症的過剰反応で、責任逃れだけが政治指導者、専門家、役人の行動原理になってしまい過剰反応をやめることができなかった。

利権勢力による犯罪

テレビに出ている専門家と言われるコメントーターではなく本物の医者や研究者はいままで何をしていたのか。3年間たつても感染のシステムや現実的な感染原因のシミュレーションもウイルスのCT値も研究されてこなかった。スーパージンピューター富岳の飛沫が飛び散る恐怖映像で国民が一発で洗脳されてしまった。人間が2人以上いれば飛沫が飛ぶ。肉體接触もする。ディープキスもする。お互いの呼吸も吸う。この中にどれだけのウイルスがあつてどれだけの量を吸えば感染するのか。健康な人間の免疫でどのくらいのウイルスならば感染しないのか。指先の爪の先の何個かのウイルスでも感染するのか。最強寒波の暴風の中で空気中に含まれる何万立方メートルに一個のウイルスを吸い込むことで感染するのか。なぜ全国何十万人の医療関係者と科学者がおかしいと声を上げなかったのか。国立感染研究所は3年間何の研究をしていたのか。厚生省と全国何万人の保健所の人間たちは濃厚接触者を認定する以外に何をやっていったのか。

この混乱の中で利権を求めマスク、アルコール、ワクチン、PCR検査、そして医療機関が莫大な利益を上げた。メディアはコロナを報道し続ける限り視聴率を稼ぎメディアの本質を忘れた。この利権はいつまでもコロナ騒動が続けば良いという巨大勢力となり感染原因を接触感染と飛沫感染である国民を騙し空気感染の事実を隠し続けた。

本誌で特集連載してもらったが、新型コロナウイルスの最も強力な感染防止対策は次亜塩素酸水だった。エボラ菌も炭疽菌も不活化させるが人体には安全な資材が国と医薬品アルコール業界によって3年間封じ込められた。ノロウイルスや新型インフルエンザウイルスの感染対策に活躍してきた次亜塩素酸水がこの国難とも言える新型コロナウイルス騒動では悪辣な風評を国自体が広めること

で全くその力を発揮することができなかった。今となっては空気感染が明白になると売れなくなるアルコール消毒の最大のライバルであった次亜塩素酸水を潰しにかかった事件であることがはっきりしている。一業界とそこに天下りする一部役人が国民の命をおもちゃにし、助かるはずだった人たちの命を奪ったのである。厚生省の傘下にある専門家たちも真実の効果を無視して「次亜塩素酸水は危ない、効かない」という嘘を流し続けた。次亜塩素酸水を超音波加湿器に入れて室内をプールの環境と同じような除菌空間にするという世界中で使われている最も現実的な対策を保健所はやめさせた。この捏造された風評と国家的な妨害工作で全国の介護施設や医療機関や保育園などで次々と次亜塩素酸水の空間噴霧が止められた。このネガティブキャンペーンでどれだけの人が感染しなくて良いのに感染してしまっただけの方が感染しなくて良いのか。次亜塩素酸水の空間噴霧というコロナ対策のゲームチェンジャーであつたはずのものが第1波から第8波まで3年間全く使われなかったという信じられない事件をみなさんに訴える。日本がこれほど愚かで正義がない国になってしまったことを残念に思う。これから1億人が不潔恐怖症で神経症に洗脳されてしまった国をリハビリし、自分の頭で考え自分の国を守る事ができるように元に戻さなくてはならない。まずその1歩としてマスクを外そう。

詳しくは次亜塩素酸水溶液普及促進会議のホームページをご覧ください。

詳しくは次亜塩素酸水溶液普及促進会議のホームページをご覧ください。